

# パンタナール通信

一般社団法人 南北米福地開発協会 会報 2019年8月1日 191号

世界平和地球村の建設と自然環境の保護

## アスンシオン Asunción



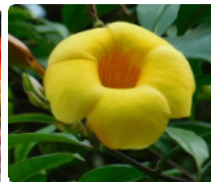
### 四季を通じて緑豊かな都市

パラグアイ共和国の首都アスンシオン。世界各地からレダ基地とパンタナールを目指す人々のほとんどが通過する、パラグアイの表玄関です。今そのアスンシオンは、冬の真つただ中。少しご案内しましょう。

早朝の空気は冷え込みます。特に八月初旬の朝は、うす氷も張るほど。しかし日中は、よほど寒い日を除き、屋内でも屋外でも快適に過ごすことのできる季節です。もちろん、エアコンは不要。暑さが極端に苦手の方々には、訪問のベストシーズンと言えるでしょう。

しかし当地の冬は、あまり長くは続きません。八月半ばには、早くもラパーチョが咲いて春爛漫。翌九月半ばには暑さが戻ってきます。四季のリズムの整った国から来ると、短い春と秋とが惜しまれるでしょう。

去る七月中旬、レダに赴く途上で、アスンシオンの街を歩いて見ました。どこまで行っても街路樹の豊かな街並み。木々は濃い緑色で、赤レンガ色の屋根瓦を飲み込みそう。これは四季を通じて変わらない、アスンシオンの色彩です。



例外的に真っ赤な紅葉を見せているのは、アルメンドラ・インディアナ。葉がとも大きく、紅くなった後は豪快に散り、歩道いっぱいにも積もっています。

パラグアイ桜こと、ピンク・ラパーチョは、気の早い一部の木が、少しだけ咲き始めていました。そして今まさに花盛りなのがマンゴーの木。花は地味ですが、実はおいしいですね。

色鮮やかな花は、あまり見られませんでしたが、写真の黄色の花とピンクの花は、各々咲き始めの一輪です。

その後、市内のクアトロ市場に行き、みずみずしい野菜と果物の勢揃いに安堵。夕日色の熟柿もしっかり並んでいました。(小田記)



市場に並べられた野菜と果物と調味料。



イスマエルさんと左藤トシ子さん(中央)が到着。7月4日

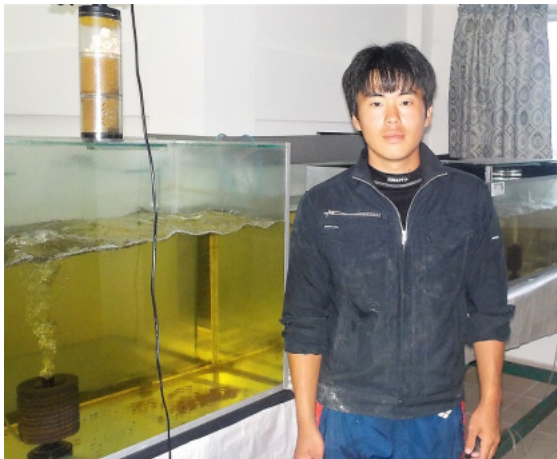


今レダ基地では

3名の鮮文大生たちが3か月の水産研究を終えて出発。6月12日



真の万物の日を祝して。6月3日



エビの世話を引き継いだ水田君。6月17日



小橋氏、江頭君、水落氏が到着。6月5日



左より、水田君、土弘君、瀬戸本君。6月3日



さっそく木作業をする水落氏。6月6日



江頭君の到着を歓迎して。6月5日



タロイモ田で作業する大山氏(白)と従業員たち。6月29日



パクー養殖池の浚渫作業。7月2日

★イエスズメ *Passer domesticus*

日本のスズメより体がやや大きいイエスズメ。家屋、倉庫、畜舎などに好んで住む。「棲む」と言うより、勝手に人間の住居に住むのだ。天敵の来る心配の少ない人家の付近で夜を過ごしたり、巣を営むことを好む野鳥は、スズメ類の他に、ツバメ類とイエミソサザイが主なところ。上の写真は、倉庫に入ろうとしてガラス窓に衝突したイエスズメのメスである。嘴を負傷し、しばらく軒下で休んでいたが、やがて元気に飛んで行った。



①イエスズメのメス。嘴から出血。

野鳥が人家の天井裏や軒下に住む場合に、人にとって迷惑なのは、その糞尿である。子供の頃聞いた話では、昔々、神様はスズメに人と同じ家に住み、同じ米を食べることを許されたとか。しかし神様がスズメに人と同じ廁を使うようにと言いつれ忘れたい。昔話ともかく、イエスズメの糞尿には、大いに悩まされた。発電室を格好のねぐらとしたのである。そこは天敵が来ない、屋根と壁がある、夜でも暖かい、通風のための隙間がある。日が暮れる頃、次から次へと「帰宅」し、夜を過ごす。そして貴重な発電機の上に、遠慮なく排泄物を落とす。これは速やかに除去しないと、制御回路を腐食させかねない。また鳥インフルエンザで知られるように、どんなウイルスを媒介されるかわからない。そこで糞尿対策だが、日本ではツバメの巢

の下には、受け板を取り付ける。しかし、レダあたりでツバメが営巣することはまずない。レダはツバメたちにとって、遠距離旅行の宿場なのである。他方、イエミソサザイとイエスズメは留鳥である。このうちイエミソサザイは個体数が少なく、今までレダで問題になったことはない。厄介なのはイエスズメである。数十羽のイエスズメの糞尿を受けると、受け板も大掛かりになる。そこで現実的なのは出入り口に金網を張ることである。特に通風孔は丁寧に網を張る。そして、夜になって鳥が入っていないことを点検するのが、どのようにしてか、スズメたちがいつでもどおり屋内に入っているのがつかりする。彼らには見かけ以上に細身で、



②侵入しようとしたオス（左下）を攻撃するメス。右は初めにいたオス。

ごく小さな隙間からも出入りできるのだ。そして翌日、小さな隙間に繰り返し戻せば、やがてスズメたちは出入りできなくなる。つまり根気勝負である。他に、屋内に入ったスズメの群れに雑巾などを投げつけて追い出すという手も、一時的だが効果がある。イエスズメの装いは、パンタールの他の小鳥たちと比べると、かなり地味な印象を受ける。また、

オスとメスとで少し風合いがことなる。オスは灰褐色の帽子を冠り、体にはメスよりもくつきりした模様と濃い彩色がある。オス、メスとも、鳴き声は「チュン、チュン」で日本のスズメと同じ。ある日のこと、果樹園を囲うワイヤーの上で、一羽のオスと一羽のメスとが仲よさそうにデートしていた。そこへ、別のオスが割り込んできた。するとメスがその侵入者を追い払おうとして、激しいもみ合いになった。ふだんおとなしそうなイエスズメだが、けたたましい声を上げてケンカをした。やがてメスが勝って、侵入者は退散。始めていたオスとメスがまた仲良くし始めた（写真③）。



③イエスズメの求愛。元のオス（右）が歌とダンスでメスに求愛する。

類は一般に、メスをめぐってオスとオスとが闘うものである。この日見た光景は、イエスズメとしては普通のことなのか、あるいは例外的なのか？ もつと観察したいところだが、日中は他の野鳥たちの数が圧倒し、イエスズメの姿はほとんど見えない。イエスズメをしつかり見ることができるとは夜間、みんな仲良く休んでいる時だけである。スズメ目スズメ科スズメ属イエスズメ（小田記）

哺乳類や鳥

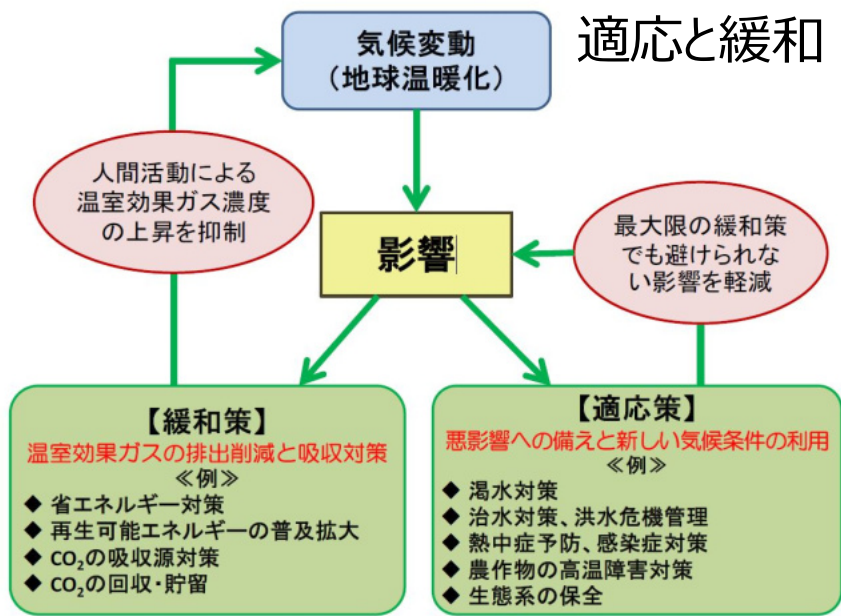
## 第二十五回環境問題研究会セミナーを開催

六月十五日(土)午後一時半より、大山街道ふるさと館イベントホールにおいて、当法人の主催で第二十五回環境問題研究会セミナーを開催しました。テーマは「地球温暖化による気象・気候のリスク」、講師は気象学の専門家(二財)気象業務支援センター・気球環境・気候研究推進室長を務める鬼頭昭雄(きとうあきお)先生、参加者は三十三名でした。

鬼頭先生が本セミナーで講師を務められるのは、今回が三度目。会員諸氏の熱い要望によって実現しました。講義は前回と同様、豊富な図表を駆使したハイレベルな内容で、参加者たちは終始真剣な眼差しで聴き入っていました。

講義は、パリ協定(COP21で採択)と、IPCCの評価報告書の解説から始まりました。二〇三〇年までに世界の平均気温が一・五度C上昇すると仮

## 適応と緩和



文部科学省 気象庁 環境省 気候変動の観測・予測及び影響評価統合レポート『日本の気候変動とその影響』2012年度版より

## 今年の夏休みは「高層湿原」のある山へ!

七月の海の日、どこで過ごされたでしょうか? 次は山の日。夏休みの真ただ中にある子供たちと一緒に、高層湿原のある山を訪れてはいかがでしょう? 高層湿原とは、冷涼地や標高の高い山などで、枯れた植物が分解されずに泥炭化して蓄積され、中央部が盛り上がった、雨水のみを水源とする湿原です。ちなみに南米のパンタナールは、湿地の一種ですが、洪水平原と呼ばれます。

高層湿原には、貴重な動植物が生息・生育することが多く、世界自然遺産の釧路湿原、歌にもなった尾瀬ヶ原など有名ですね。大自然の奇跡である日本列島には、大小の美しい高層湿原が数多くあります。お子様の心身の鍛錬と、情操と知的探求心を育む教材としてお奨めします。

例・八島湿原(霧ヶ峰)、苗場山頂湿原、巻機山頂湿原、田代山湿原、入笠湿原と大阿原湿原(入笠山)、池の平湿原と白窪湿原(湯ノ丸山)、戦場ヶ原(日光)ほか。この夏はルーペとデジカメを携え、花や苔や虫などを見つめてみませんか。

### 検索

### 高層湿原

高層湿原とは、冷涼地や標高の高い山などで、枯れた植物が分解されずに泥炭化して蓄積され、中央部が盛り上がった、雨水のみを水源とする湿原です。ちなみに南米のパンタナールは、湿地の一種ですが、洪水平原と呼ばれます。

高層湿原には、貴重な動植物が生息・生育することが多く、世界自然遺産の釧路湿原、歌にもなった尾瀬ヶ原など有名ですね。大自然の奇跡である日本列島には、大小の美しい高層湿原が数多くあります。お子様の心身の鍛錬と、情操と知的探求心を育む教材としてお奨めします。

例・八島湿原(霧ヶ峰)、苗場山頂湿原、巻機山頂湿原、田代山湿原、入笠湿原と大阿原湿原(入笠山)、池の平湿原と白窪湿原(湯ノ丸山)、戦場ヶ原(日光)ほか。この夏はルーペとデジカメを携え、花や苔や虫などを見つめてみませんか。



大阿原湿原

## 一般社団法人 南北米福地開発協会 事務局

〒213-0001

神奈川県川崎市高津区

溝口3-11-15

岩崎ビル4F

電話: 044-829-2821

FAX: 044-829-2820

ゆうちょ銀行 (旧一般会員会費納入)

記号10280 番号61349751

一般社団法人 南北米福地開発協会

E-メール: office@asd-nsa.com

ホームページ: https://asd-nsa.com

Facebook: https://www.facebook

.com/ledaproject.jp/

## 会員種別

◆ 会員一口1000円/月

◆ 特別会員一口1万円/月

◆ 法人会員一口1万円/月

※いずれも口数は申込者が申告

会費は、毎月の引き落とし方式です。

会費振替用口座 ゆうちょ銀行

00290-5-113072

加入者名: シヤ) 南北米福地開発協会

入会申し込みと同時に手続きをお願い申し上げます。それが確認でき次第、会員番号を確定し、ご案内いたします。

♥ 入会申込書は、左記の事務局にお申しつけください。ホームページからも入手できます。

## お便り募集



ルリタテハの手乗り

読者の皆様からのお便りを募集します。本紙記事へのご感想や提案、皆様個人やご家庭での歩み、あるいはグループや支部での活動と関連写真、イラストなどをお待ちしています。宛て先は、事務局: office@asd-nsa.com へお願いします。